



平成28年4月25日

各 位

会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス  
代表者 代表取締役社長 鈴木 秀典  
(コード番号 8008 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員財務担当 西村 政彦  
(TEL. 03-5719-3429)

(訂正) 「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成24年4月9日に開示いたしました「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正の理由及び経緯

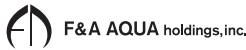
訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月25日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年4月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 F & A アクアホールディングス  
 コード番号 8008 URL http://www.fa-aqua.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 祭氏  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務担当 (氏名) 岩森 真彦 TEL 03-5719-3429  
 定時株主総会開催予定日 平成24年5月24日 配当支払開始予定日 平成24年5月25日  
 有価証券報告書提出予定日 平成24年5月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期の連結業績（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期	46,693	0.6	3,425	37.0	3,891	32.3	1,971	106.8
23年2月期	46,433	△4.1	2,499	3.6	2,940	15.2	953	4.2

(注) 包括利益 24年2月期 1,927百万円 (90.9%) 23年2月期 1,009百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
24年2月期	71	35	—	—	5.2	7.6	7.3
23年2月期	34	09	—	—	2.6	5.7	5.4

(参考) 持分法投資損益 24年2月期 221百万円 23年2月期 130百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	銭	百万円	銭	%	円	銭
24年2月期	50,746	—	38,442	—	75.7	1,401	73
23年2月期	50,989	—	37,418	—	73.4	1,341	31

(参考) 自己資本 24年2月期 38,426百万円 23年2月期 37,411百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年2月期	4,059	△432	△2,841	1,287
23年2月期	2,858	△966	△1,904	502

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
23年2月期	—	10 00	—	10 00	20 00	581	58.7	1.5
24年2月期	—	10 00	—	11 00	21 00	601	29.4	1.5
25年2月期(予想)	—	10 50	—	10 50	21 00		26.4	

(注) 24年2月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭  
特別配当 1円00銭

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	22,100	2.7	1,450	11.5	1,650	26.8	750	26.2	27	14
通期	47,500	1.7	3,800	10.9	4,300	10.5	2,200	11.6	79	61

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期	29,331,356株	23年2月期	30,331,356株
--------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年2月期	1,917,896株	23年2月期	2,439,583株
--------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数

24年2月期	27,634,925株	23年2月期	27,891,773株
--------	-------------	--------	-------------

(注)1. 自己株式については、当連結会計年度末にF&Aアクアホールディングス従業員持株会信託口が所有する当社株式315,100株を含めて記載しております。

2. 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、22ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年2月期の個別業績（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期	1,306	2.4	823	1.3	795	0.5	674	△3.2
23年2月期	1,275	△0.5	813	0.1	791	2.7	696	0.2

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期	23	44	—	—
23年2月期	23	94	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
24年2月期	32,828	23,980	23,980	24,211	73.0	839	77	
23年2月期	32,763	24,211	24,211	24,211	73.9	834	20	

(参考) 自己資本 24年2月期 23,966百万円 23年2月期 24,206百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ以降をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 継続企業の前提に関する注記	17
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	17
(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	17
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	18
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	18
(連結包括利益計算書関係)	18
(セグメント情報)	19
(1株当たり情報)	22
(重要な後発事象)	22
4. 個別財務諸表	23
(1) 貸借対照表	23
(2) 損益計算書	25
(3) 株主資本等変動計算書	26

## 1. 経営成績

## (1) 経営成績に関する分析

## ・当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の発生により一時的に大きく落ち込みました。一部では復興需要等による景気持ち直しも期待されましたが、原子力災害の影響や欧州の債務危機、長引く円高の影響、株価の低迷等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、震災の影響による消費者マインドの冷え込みや雇用情勢の停滞、所得環境の低迷等により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、第2次中期経営計画最終年度となる2011年度、信頼性の高い企業グループの構築とグループ価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んでまいりました。

売上高におきましては、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツにおいて、主力の「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーの既存店や、「4℃BRIDAL」(ヨンドシィブライダル)、「canal 4℃」(カナルヨンドシィ)の好調等により、前期に比べ増加いたしました。(株)アスティは、不動産賃貸収入の減少により前期に比べ減少いたしました。(株)三鈴は、不採算店舗の撤退等により前期に比べ減少いたしました。(株)アージュは、「パレット」(総合衣料品店のチェーン展開)の既存店が好調を維持したことしたことや、新規出店により前期に比べ増加いたしました。

その結果、当期の連結営業収益は、466億93百万円(前年同期比0.6%増)と前期に比べ増加いたしました。

利益面におきましては、連結営業利益は、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツが過去最高益を更新したこと等により34億25百万円(前年同期比37.0%増)と前期に比べ増加いたしました。また、連結経常利益は38億91百万円(前年同期比32.3%増)、連結当期純利益は19億71百万円(前年同期比106.8%増)と前期に比べ増加いたしました。なお、連結経常利益は過去最高を更新することとなりました。

(注) 営業収益は、「売上高」と「その他の営業収入」の合計を記載しております。

## ・セグメント別の営業概況

## (エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ)

営業収益	229億80百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	30億95百万円	(前年同期比	－%)

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおきましては、主力の「4℃」ジュエリーにおける既存店の売上回復や「4℃BRIDAL」の積極的な出店、「canal 4℃」の都市型S Cを中心としたマーケット拡大による新たな顧客の獲得により好調に推移いたしました。また、「EAUDOUCE 4℃」(オデュースヨンドシィ)、「4℃」バッグの健闘等もあり、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツでは売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

## (アスティグループ)

営業収益	95億85百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	3億38百万円	(前年同期比	－%)

アスティグループにおきましては、OEM事業を中心としたアパレルメーカー事業の強化により売上高の拡大に取り組んでまいりました。主力得意先との取り組みが順調に推移したことや、新規得意先の開拓と取引が拡大したこと等により、売上高、営業利益ともに堅調に推移いたしました。

(三鈴)

営業収益	65億67百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	1億40百万円	(前年同期比	－%)

(株)三鈴におきましては、ブランド価値向上を目指し、ブランドの再編による商品力の強化や主力商品を軸としたコーディネート提案と服飾雑貨の強化に努めてまいりました。プロパー消化率の向上と、経費削減が奏功し、営業利益が大幅に改善いたしました。

(アージュ)

営業収益	75億59百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	1億40百万円	(前年同期比	－%)

(株)アージュにおきましては、売上高の拡大と利益体質の強化に取り組んでまいりました。主力の「パレット」が好調に推移したことや、「LOU」(ルウ)、「ラポール」の損益改善もあり、売上高、営業利益とも前期に比べ増加いたしました。

・次期の見通し

今後のわが国経済は、一部で復興需要等が期待されるものの、欧州の債務危機や原子力災害、デフレの影響等もあり、本格的な回復には時間がかかるものと予測されます。

流通業界におきましては、消費者マインドの冷え込みや雇用情勢の停滞、所得環境の低迷は続くものとみられ、経営環境は依然として厳しいものと予測されます。

このような状況のもと、当社は第3次中期経営計画をスタートさせ、信頼性の高い企業グループの構築に向け、CSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいります。

取り組むべきコア事業を「事業ビジョン」、それらを実現させるための仕組みを「組織ビジョン」、数値目標は「数値ビジョン」として掲げ、成長軌道への転換を強力に推進してまいります。

また、ホールディングスにおける機能強化策として「シナジー戦略の推進」を行い、グループ各社が効果的な事業遂行ができる体制を構築してまいります。

事業ビジョン

- ① エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおけるチャンネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大
- ② アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上
- ③ (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立
- ④ (株)アージュにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上
- ⑤ 海外戦略の推進
- ⑥ EC事業の拡大
- ⑦ 「4℃」ブランドの価値向上
- ⑧ 各グループ子会社の利益体質強化

組織ビジョン

- ① グループシナジー体制の構築
- ② グループ業務機能の集約・強化
- ③ グループ次期基幹システムの構築
- ④ グループ人材育成の推進
- ⑤ グローバル化に対応した人材の育成

次期(平成25年2月期)の連結業績見通しにつきましては、営業収益475億円、経常利益43億円、当期純利益22億円を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

資産は507億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億42百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が8億34百万円増加したものの、のれんの減少5億23百万円、有形固定資産の減少3億28百万円及び繰延税金資産の減少2億61百万円等により相殺されたことによるものであります。

負債は123億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億66百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少15億78百万円等によるものであります。

純資産は384億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億23百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加5億91百万円及び自己株式の減少4億67百万円等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ7億84百万円増加し、当連結会計年度末には12億87百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、資金の増加は40億59百万円（前連結会計年度比12億1百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益35億44百万円及び減価償却費8億73百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、資金の減少は4億32百万円（前連結会計年度比5億33百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億36百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の減少は28億41百万円（前連結会計年度比9億36百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の減少額15億40百万円、配当金の支払額5億85百万円及び自己株式の取得による支出4億37百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期
自己資本比率（%）	67.2	71.5	73.4	75.7
時価ベースの自己資本比率（%）	41.4	48.7	41.6	42.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	7.3	0.7	0.9	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	8.6	63.7	71.9	143.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」によっております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的に自社株買いを実施すること等により利益還元の水準向上を目指しております。

この方針に基づき、当期末の配当につきましては、過去最高経常利益を更新したことから1株当たり10円に特別配当1円を加えた11円とさせていただく予定です。当中間期末の配当(1株当たり10円)と合わせまして、通期では21円とさせていただく予定です。次期の配当につきましては、中間、期末ともに10.5円の年間21円を予定しております。

その他に、株主優待制度を設けており、期末現在株主様を対象に、当社グループの「株主ご優待券」、「当社グループ商品」、そしてCSR型の優待として「日本水フォーラムへの寄付」の3つの中からいずれか1つをお選びいただくものとなっております。

また、今後の事業展開に備えてグループ収益力の向上と経営基盤の強化に努め、将来にわたり株主の皆様のご期待に答えてまいりたいと考えております。内部留保につきましては、一段と激化する企業間競争に耐えうる経営体質の強化と、新規市場の開拓、新ブランドの開発、M&A等の事業展開に備えてまいります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。



## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、人間尊重の基本理念のもと、変革を恐れず、挑戦し続ける企業文化を大切にします。そして、

「私達は、お客様に信頼される企業を目指します。」

「私達は、社員に夢を与える企業を目指します。」

「私達は、社会に貢献できる企業を目指します。」

「私達は、株主に期待される企業を目指します。」

を経営理念として掲げ、商品やサービスの提供を通して、人々の快適な生活づくりに貢献することを最大の使命と考えております。

また、顧客、社員、取引先、株主など私たちを取り巻く人々に対する責任を果たすため、一層の高収益企業を目指し、グループの結束力を一段と強化してまいります。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループでは売上高経常利益率及び株主資本利益率(ROE)を重要な経営指標としてとらえております。収益率の向上、投資効率、資金の有効活用等を実現するため、事業戦略を組み立て、諸施策を実施しております。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

3ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析(次期の見通し)」に記載のとおりであります。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、市場の変化への対応力を強化するとともに、競争優位性を確立するために、以下の課題に取り組んでまいります。

#### ①エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ

「4℃」ジュエリーのブランド価値向上を中心とした事業展開と新たなマーケットの拡大へ向けた施策の取り組みを通じて、強固な増収・増益体制を目指します。さらに、次世代リーダーの育成等を推進し、営業利益の二桁成長を目指します。

#### ②アスティグループ

アパレルメーカー事業の「マーケット拡大による成長」を目指すと共に、人材育成・人材確保を進め、経常利益率6%以上、全子会社の黒字化に取り組んでまいります。

#### ③三鈴

アパレルSPA事業の確立を目指し、主要ブランドの構築を事業ビジョンとして掲げ、合わせて人材育成に力を入れ、経常利益率5%に取り組み、アクアグループを牽引していく第2の中核事業会社を目指します。

#### ④アージュ

コア事業「パレット」の拡大へ向け、開発部の新設、商品部の拡充により、経常利益2億円以上に取り組んでまいります。

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年2月28日)	当連結会計年度 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,901	1,287,321
受取手形及び売掛金	3,310,090	3,405,744
商品及び製品	5,086,013	5,205,017
仕掛品	522,351	329,657
原材料及び貯蔵品	421,913	566,752
繰延税金資産	480,552	839,425
前渡金	7,940	13,054
未収入金	223,361	90,503
その他	372,597	244,222
貸倒引当金	△4,683	△6,941
流動資産合計	10,873,038	11,974,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,707,350	5,531,699
土地	5,994,953	5,820,237
リース資産(純額)	77,463	77,674
建設仮勘定	4,376	367
その他(純額)	385,446	411,068
有形固定資産合計	12,169,588	11,841,047
無形固定資産		
のれん	7,795,492	7,271,736
リース資産	2,359	47,742
商標権	2,533	2,030
その他	250,887	142,569
無形固定資産合計	8,051,273	7,464,079
投資その他の資産		
投資有価証券	13,064,993	13,048,529
差入保証金	521,682	407,316
長期貸付金	48,389	35,334
繰延税金資産	677,560	415,757
投資不動産(純額)	810,784	804,495
前払年金費用	1,992,984	1,990,625
敷金	2,344,555	2,313,472
破産更生債権等	565,445	561,228
その他	468,671	484,172
貸倒引当金	△599,044	△593,824
投資その他の資産合計	19,896,023	19,467,108
固定資産合計	40,116,885	38,772,235
資産合計	50,989,923	50,746,994

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年2月28日)	当連結会計年度 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,138,660	4,000,388
短期借入金	1,676,604	97,700
リース債務	20,265	36,563
未払法人税等	941,945	1,034,486
繰延税金負債	23	1,439
賞与引当金	469,848	503,261
役員賞与引当金	50,450	57,450
その他	2,466,912	2,798,776
流動負債合計	9,764,710	8,530,067
固定負債		
長期借入金	733,130	510,350
リース債務	63,326	94,530
長期預り保証金	390,340	318,592
繰延税金負債	796,121	931,369
退職給付引当金	533,050	554,593
役員退職慰労引当金	369,511	397,046
資産除去債務	765,013	806,554
その他	155,741	161,558
固定負債合計	3,806,236	3,774,597
負債合計	13,570,946	12,304,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,300,303	18,300,303
利益剰余金	18,739,747	19,330,884
自己株式	<u>△1,950,104</u>	<u>△1,482,588</u>
株主資本合計	37,576,467	38,635,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,765	91,187
繰延ヘッジ損益	△2,555	14,624
土地再評価差額金	△264,512	△264,512
為替換算調整勘定	△43,665	△50,172
その他の包括利益累計額合計	<u>△164,967</u>	<u>△208,873</u>
新株予約権	5,483	14,286
少数株主持分	1,994	1,796
純資産合計	37,418,977	38,442,329
負債純資産合計	50,989,923	50,746,994

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	45,225,041	45,690,557
売上原価	20,972,454	21,071,998
売上総利益	24,252,587	24,618,558
その他の営業収入	1,208,832	1,002,740
営業総利益	25,461,419	25,621,299
販売費及び一般管理費	22,961,930	22,196,195
営業利益	2,499,489	3,425,104
営業外収益		
受取利息	3,224	2,467
受取配当金	59,834	62,487
持分法による投資利益	<u>130,370</u>	<u>221,676</u>
投資不動産賃貸料	106,850	94,687
為替差益	16,912	20,757
助成金収入	84,125	67,859
その他	106,414	47,884
営業外収益合計	<u>507,730</u>	<u>517,820</u>
営業外費用		
支払利息	42,010	29,753
その他	25,012	22,047
営業外費用合計	67,022	51,801
経常利益	<u>2,940,198</u>	<u>3,891,124</u>
特別利益		
固定資産売却益	1,576	585
投資有価証券売却益	11,726	0
貸倒引当金戻入額	10,701	2,751
過年度消費税等還付額	—	121,027
特別利益合計	24,004	124,364
特別損失		
固定資産売却損	—	23,386
固定資産除却損	91,654	64,560
投資有価証券売却損	2,171	—
投資有価証券評価損	70,110	50,417
減損損失	247,558	274,467
店舗閉鎖損失	14,721	13,971
事務所閉鎖損失	40,110	—
災害損失	—	42,910
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,338	—
その他	6,097	1,061
特別損失合計	962,762	470,774
税金等調整前当期純利益	<u>2,001,440</u>	<u>3,544,714</u>
法人税、住民税及び事業税	1,342,314	1,503,450
法人税等調整額	△293,776	69,640
法人税等合計	1,048,538	1,573,090
少数株主損益調整前当期純利益	<u>952,901</u>	<u>1,971,623</u>
少数株主損失(△)	△417	△197
当期純利益	<u>953,319</u>	<u>1,971,821</u>

## 連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前当期純利益	—	<u>1,971,623</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△58,260
繰延ヘッジ損益	—	17,179
為替換算調整勘定	—	△6,506
持分法適用会社に対する持分相当額	—	<u>3,698</u>
その他の包括利益合計	—	<u>△43,888</u>
包括利益	—	<u>1,927,735</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	—	<u>1,927,537</u>
少数株主に係る包括利益	—	<u>197</u>

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,486,520	2,486,520
当期末残高	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
前期末残高	18,300,326	18,300,303
当期変動額		
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
自己株式の消却	△58,912	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	18,300,303	18,300,303
利益剰余金		
前期末残高	18,517,819	18,739,747
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	953,319	1,971,821
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	221,927	591,137
当期末残高	18,739,747	19,330,884
自己株式		
前期末残高	△2,105,651	△1,549,100
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の消却	250,008	802,559
当期変動額合計	556,551	365,226
当期末残高	△1,549,100	△1,183,873
自己株式(従持信託所有分)		
前期末残高	—	△401,004
当期変動額		
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	△401,004	102,289
当期末残高	△401,004	△298,714
自己株式		
前期末残高	△2,105,651	△1,950,104
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
自己株式の消却	250,008	802,559
当期変動額合計	155,547	467,515
当期末残高	△1,950,104	△1,482,588

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	<u>37,199,014</u>	<u>37,576,467</u>
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	<u>953,319</u>	<u>1,971,821</u>
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	<u>377,452</u>	<u>1,058,652</u>
当期末残高	<u>37,576,467</u>	<u>38,635,120</u>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
前期末残高	72,924	145,765
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>72,841</u>	<u>△54,578</u>
当期変動額合計	<u>72,841</u>	<u>△54,578</u>
当期末残高	<u>145,765</u>	<u>91,187</u>
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
前期末残高	△2,223	△2,555
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△331	17,179
当期変動額合計	△331	17,179
当期末残高	△2,555	14,624
<b>土地再評価差額金</b>		
前期末残高	△264,512	△264,512
当期末残高	△264,512	△264,512
<b>為替換算調整勘定</b>		
前期末残高	△28,008	△43,665
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,657	△6,506
当期変動額合計	△15,657	△6,506
当期末残高	△43,665	△50,172
その他の包括利益累計額合計		
前期末残高	△221,820	△164,967
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>56,852</u>	<u>△43,905</u>
当期変動額合計	<u>56,852</u>	<u>△43,905</u>
当期末残高	<u>△164,967</u>	<u>△208,873</u>
<b>新株予約権</b>		
前期末残高	—	5,483
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,483	8,802
当期変動額合計	5,483	8,802
当期末残高	5,483	14,286
<b>少数株主持分</b>		
前期末残高	2,412	1,994
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△417	△197
当期変動額合計	△417	△197
当期末残高	1,994	1,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
純資産合計		
前期末残高	<u>36,979,606</u>	<u>37,418,977</u>
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	<u>953,319</u>	<u>1,971,821</u>
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>61,918</u>	<u>△35,300</u>
当期変動額合計	<u>439,370</u>	<u>1,023,352</u>
当期末残高	<u>37,418,977</u>	<u>38,442,329</u>



## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,001,440	3,544,714
減価償却費	840,853	873,721
減損損失	247,558	274,467
のれん償却額	532,382	523,755
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,338	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△84,545	△2,961
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,179	33,413
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,583	24,422
その他の引当金の増減額(△は減少)	44,897	34,535
受取利息及び受取配当金	△63,058	△64,954
支払利息	42,010	29,753
持分法による投資損益(△は益)	△130,370	△221,676
為替差損益(△は益)	△34,272	23,324
固定資産除却損	91,654	64,560
固定資産売却損益(△は益)	△1,576	22,800
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,554	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	70,110	50,417
売上債権の増減額(△は増加)	46,085	△91,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△259,937	△71,718
仕入債務の増減額(△は減少)	223,207	△138,087
未払消費税等の増減額(△は減少)	122,105	73,809
その他の資産の増減額(△は増加)	343,657	245,878
その他の負債の増減額(△は減少)	△351,623	15,187
小計	4,249,125	5,243,925
利息及び配当金の受取額	171,824	173,720
利息の支払額	△39,739	△28,213
法人税等の支払額	△1,523,123	△1,329,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,858,087	4,059,961

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△971,383	△636,718
有形固定資産の売却による収入	1,966	147,518
無形固定資産の取得による支出	△6,756	△62,777
投資有価証券の取得による支出	△22,044	△15,884
投資有価証券の売却による収入	62,350	0
長期貸付けによる支出	△10,852	△5,796
長期貸付金の回収による収入	20,568	18,851
長期前払費用の取得による支出	△14,937	△25,661
その他の支出	△439,249	△283,771
その他の収入	414,194	431,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966,144	△432,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,310,000	△1,540,000
長期借入れによる収入	487,000	—
長期借入金の返済による支出	△255,424	△261,684
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△121,532	△437,308
配当金の支払額	△586,738	△585,983
その他の支出	△108,243	△16,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,904,938	△2,841,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,364	△915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,359	784,420
現金及び現金同等物の期首残高	518,261	502,901
現金及び現金同等物の期末残高	502,901	1,287,321

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成23年5月27日提出）における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<p>会計処理基準に関する事項の変更</p> <p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 当連結会計年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を早期適用しております。</p> <p>これにより、営業利益は40,497千円、経常利益は40,624千円、税金等調整前当期純利益は、530,963千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は709,832千円であります。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響については、セグメント情報に記載しております。</p> <p>(2) 退職給付に係る会計基準の一部改正（その3）の適用 当連結会計年度より、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。</p> <p>なお、これによる当連結会計年度の損益への影響はありません。</p>	—————

表示方法の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
—————	<p>(連結損益計算書関係)</p> <p>当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目で表示しております。</p>

## 追加情報

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<p>(信託型従業員持株インセンティブ・プランにおける自己株式の処分に関する会計処理方法について)</p> <p>当社は、平成22年4月19日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入を決議しており、平成22年5月11日付で、自己株式513,700株(486,987千円)を「F&amp;Aアクアホールディングス従業員持株会専用信託口」(以下「従持信託」といいます。)へ譲渡しております(平成22年4月19日開示済)。</p> <p>当該自己株式の処分に関する会計処理については、当社が従持信託の債務を保証している関係上、経済的実態を重視する観点から、当社と従持信託が一体のものであると認識し、F&amp;Aアクアホールディングス従業員持株会が従持信託より株式を購入した時点で、当社から外部に株式が譲渡されたものとして処理しております。したがって、従持信託が所有する自己株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については当社の連結貸借対照表及び連結損益計算書に含めて計上しており、自己株式数については従持信託が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。</p> <p>なお、平成23年2月28日現在において従持信託が所有する自己株式数は423,000株、当社が所有する自己株式数は891,110株となっております。</p>	<p>当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計年度」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用しております。ただし、「その他の包括利益累計額」及び「その他の包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」及び「評価・換算差額等合計」の金額を記載しております。</p>

(8) 連結財務諸表に関する注記事項  
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)						
<p>1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">452,901千円</td> </tr> <tr> <td>流動資産その他(金銭の信託)</td> <td style="text-align: right;">50,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">502,901</td> </tr> </table>	現金及び預金	452,901千円	流動資産その他(金銭の信託)	50,000	現金及び現金同等物	502,901	<p>1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び現金同等物の期末残高と、連結貸借対照表に掲記されている現金及び預金勘定の期末残高は、金額が一致しております。</p>
現金及び預金	452,901千円						
流動資産その他(金銭の信託)	50,000						
現金及び現金同等物	502,901						

## (連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益

親会社株主に係る包括利益	1,047,696千円
計	1,047,696千円

当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益

その他有価証券評価差額金	66,845千円
繰延ヘッジ損益	△331千円
為替換算調整勘定	△15,657千円
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>5,992千円</u>
計	<u>56,849千円</u>

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ、(株)アスティ、(株)三鈴及び(株)アージュの4事業会社を軸とする総合ファッション企業として事業活動を展開しております。

当社グループは連結子会社を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」、「アスティグループ」、「三鈴」及び「アージュ」の4事業を報告セグメントとしております。

「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」では、「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーを中心としたブランドSPA事業、飲食事業を行っております。

「アスティグループ」では、主にOEM事業を中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業を行っております。

「三鈴」では、アパレルSPA事業を行っております。

「アージュ」では、西日本を中心としてファッション分野でリテール事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成22年3月1日至平成23年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アスティ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	21,414,893	9,866,807	7,741,268	7,410,903	46,433,874	—	46,433,874
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8,418	1,518,131	6,918	176,289	1,709,757	△1,709,757	—
計	21,423,311	11,384,939	7,748,187	7,587,192	48,143,631	△1,709,757	46,433,874
セグメント利益	2,690,563	79,927	△23,770	57,942	2,804,662	△305,172	2,499,489
セグメント資産	17,576,198	18,778,372	3,287,911	2,054,303	41,696,786	9,293,137	50,989,923
その他の項目							
減価償却費	351,945	295,019	120,110	27,484	794,560	3,052	797,613
減損損失	38,879	103,771	101,116	3,791	247,558	—	247,558
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	752,856	116,023	105,367	9,683	983,930	—	983,930

(注)1 セグメント利益の調整額△305,172千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

(単位:千円)

						調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	22,980,762	9,585,355	6,567,438	7,559,742	46,693,298	—	46,693,298
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	26,778	1,408,936	53,085	210,537	1,699,338	△1,699,338	—
計	23,007,541	10,994,291	6,620,523	7,770,280	48,392,637	△1,699,338	46,693,298
セグメント利益	3,095,642	338,762	140,261	140,680	3,715,346	△290,241	3,425,104
セグメント資産	19,354,338	17,814,402	3,231,887	1,935,947	<u>42,336,575</u>	<u>8,410,418</u>	<u>50,746,994</u>
その他の項目							
減価償却費	420,548	255,327	115,725	29,780	821,382	15,327	836,710
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	553,460	29,481	112,942	1,401	697,286	1,410	698,696

- (注) 1 セグメント利益の調整額△290,241千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (関連情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しています。

## (報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アスティ グループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	131,964	102,597	36,010	3,894	274,467	-	274,467

## (報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、523,755千円、未償却残高は7,271,736千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

## (報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

該当事項はありません。

## (開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、資産除去債務、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
1株当たり純資産額 1,341.31円	1株当たり純資産額 1,401.73円
1株当たり当期純利益金額 34.09円	1株当たり当期純利益金額 71.35円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載しておりません。	
同左	

(注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)	当連結会計年度末 (平成24年2月29日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	37,418,977	38,442,329
普通株式に係る純資産額(千円)	37,411,499	38,426,246
差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	5,483	14,286
少数株主持分	1,994	1,796
普通株式の発行済株式数(株)	30,331,356	29,331,356
普通株式の自己株式数(株)	2,439,583	1,917,896
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	27,891,773	27,413,460

## 2 1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	953,319	1,971,821
普通株式に係る当期純利益(千円)	953,319	1,971,821
普通株式の期中平均株式数(株)	27,965,451	27,634,925

3 従持信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。このため、上記の1株当たり純資産額の算定に用いられた当連結会計年度末の普通株式数及び1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた当連結会計年度の期中平均株式数は、当該株式が控除されております。

## (重要な後発事象)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
(自己株式の消却) 当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主の皆様への利益還元を図るため、平成23年4月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、平成23年4月12日現在における自己株式1,073,110株(当連結会計年度末株式数891,110株、平成23年1月21日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の3月における取得数47,000株、平成23年4月11日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の取得数135,000株の合計)のうち普通株式1,000,000株の消却を決議し、平成23年4月19日に消却の手続が完了しております。	—



4. 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年2月28日)	当事業年度 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,201	901,523
前払費用	658	—
繰延税金資産	9,384	12,159
関係会社短期貸付金	3,205,891	2,380,720
未収入金	98,878	103,801
その他	59,085	5,342
流動資産合計	3,494,100	3,403,547
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	—	439
工具、器具及び備品(純額)	195	480
リース資産	11,700	9,000
有形固定資産合計	11,895	9,920
無形固定資産		
ソフトウェア	2,194	1,779
リース資産	—	46,109
無形固定資産合計	2,194	47,888
投資その他の資産		
投資有価証券	5,004	3,631
関係会社株式	29,197,880	29,197,880
繰延税金資産	30,587	32,424
その他	21,860	133,054
投資その他の資産合計	29,255,333	29,366,990
固定資産合計	29,269,423	29,424,799
資産合計	32,763,523	32,828,346

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年2月28日)	当事業年度 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	7,958,407	8,254,270
リース債務	2,821	14,855
未払金	24,925	23,289
未払費用	5,440	5,797
未払法人税等	28,369	27,401
賞与引当金	11,240	12,890
役員賞与引当金	13,700	16,150
その他	5,834	5,666
流動負債合計	8,050,739	8,360,321
固定負債		
長期借入金	415,980	330,700
リース債務	9,479	43,266
退職給付引当金	—	1,632
役員退職慰労引当金	75,770	89,820
その他	—	22,200
固定負債合計	501,229	487,618
負債合計	8,551,968	8,847,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金	14,838,777	14,838,777
資本剰余金合計	14,838,777	14,838,777
利益剰余金		
利益準備金	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金	805,927	99,309
利益剰余金合計	8,017,727	7,311,109
自己株式	△1,137,099	△669,559
株主資本合計	24,205,925	23,966,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145	△726
評価・換算差額等合計	145	△726
新株予約権	5,483	14,286
純資産合計	24,211,554	23,980,406
負債純資産合計	32,763,523	32,828,346

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
営業収益	1,275,525	1,306,610
営業総利益	1,275,525	1,306,610
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,213	7,458
役員報酬	90,720	92,119
給料及び手当	105,954	101,171
賞与引当金繰入額	11,240	12,890
役員賞与引当金繰入額	13,700	16,150
退職給付費用	—	1,911
役員退職慰労引当金繰入額	22,860	25,710
法定福利費	24,652	25,131
福利厚生費	16,776	34,266
業務委託費	30,771	28,556
借地借家料	18,955	5,796
支払手数料	20,885	22,361
減価償却費	3,052	15,327
その他	94,643	94,220
販売費及び一般管理費合計	462,426	483,071
営業利益	813,099	823,539
営業外収益		
受取利息	19,593	15,575
受取配当金	34	54
投資有価証券割当益	4,888	—
その他	2,488	2,411
営業外収益合計	27,004	18,040
営業外費用		
支払利息	46,487	42,994
その他	1,941	2,827
営業外費用合計	48,429	45,822
経常利益	791,673	795,757
特別損失		
固定資産除却損	1,050	—
災害損失	—	18,512
特別損失合計	1,050	18,512
税引前当期純利益	790,623	777,245
法人税、住民税及び事業税	104,430	107,339
法人税等調整額	△10,320	△4,110
法人税等合計	94,109	103,228
当期純利益	696,513	674,016

## (3) 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,486,520	2,486,520
当期末残高	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	14,838,777	14,838,777
当期末残高	14,838,777	14,838,777
その他資本剰余金		
前期末残高	22	—
当期変動額		
自己株式の消却	△58,912	—
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	—	—
資本剰余金合計		
前期末残高	14,838,799	14,838,777
当期変動額		
自己株式の消却	△58,912	—
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	14,838,777	14,838,777
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	417,300	417,300
当期末残高	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	6,794,500	6,794,500
当期末残高	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金		
前期末残高	882,438	805,927
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	△76,510	△706,618
当期末残高	805,927	99,309
利益剰余金合計		
前期末残高	8,094,238	8,017,727
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	△76,510	△706,618
当期末残高	8,017,727	7,311,109

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
自己株式		
前期末残高	△1,292,668	△736,095
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の消却	250,008	802,559
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
当期変動額合計	556,573	365,250
当期末残高	△736,095	△370,844
自己株式(従持信託所有分)		
前期末残高	—	△401,004
当期変動額		
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	△401,004	102,289
当期末残高	△401,004	△298,714
自己株式		
前期末残高	△1,292,668	△1,137,099
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の消却	250,008	802,559
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	155,569	467,539
当期末残高	△1,137,099	△669,559
株主資本合計		
前期末残高	24,126,889	24,205,925
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	79,035	△239,078
当期末残高	24,205,925	23,966,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	—	145
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145	△872
当期変動額合計	145	△872
当期末残高	145	△726
評価・換算差額等合計		
前期末残高	—	145
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145	△872
当期変動額合計	145	△872
当期末残高	145	△726

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
新株予約権		
前期末残高	—	5,483
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,483	8,802
当期変動額合計	5,483	8,802
当期末残高	5,483	14,286
純資産合計		
前期末残高	24,126,889	24,211,554
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の取得	△121,532	△437,308
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,629	7,930
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	84,665	△231,147
当期末残高	24,211,554	23,980,406

(訂正前)



## 平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年4月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 F & A アクアホールディングス  
 コード番号 8008 URL http://www.fa-aqua.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 祭氏  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務担当 (氏名) 岩森 真彦 TEL 03-5719-3429  
 定時株主総会開催予定日 平成24年5月24日 配当支払開始予定日 平成24年5月25日  
 有価証券報告書提出予定日 平成24年5月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期の連結業績（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期	46,693	0.6	3,425	37.0	3,889	30.6	1,970	98.7
23年2月期	46,433	△4.1	2,499	3.6	2,978	13.9	991	1.4

(注) 包括利益 24年2月期 1,926百万円 (83.8%) 23年2月期 1,047百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
24年2月期	71	27	—	—	5.1	7.6	7.3
23年2月期	35	44	—	—	2.6	5.7	5.4

(参考) 持分法投資損益 24年2月期 219百万円 23年2月期 168百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭
24年2月期	51,142	—	38,837	—	75.9	1,415	84
23年2月期	51,387	—	37,816	—	73.6	1,355	25

(参考) 自己資本 24年2月期 38,821百万円 23年2月期 37,808百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年2月期	4,059	△432	△2,841	1,287
23年2月期	2,858	△966	△1,904	502

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
23年2月期	—	円 10 00	—	円 10 00	円 20 00	581	56.4	1.5
24年2月期	—	円 10 00	—	円 11 00	円 21 00	601	29.5	1.6
25年2月期(予想)	—	円 10 50	—	円 10 50	円 21 00		26.4	

(注) 24年2月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭  
特別配当 1円00銭

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	22,100	2.7	1,450	11.5	1,650	16.0	750	33.5	27	13
通期	47,500	1.7	3,800	10.9	4,300	10.6	2,200	11.7	79	59

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期	29,331,356株	23年2月期	30,331,356株
--------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年2月期	1,911,731株	23年2月期	2,433,418株
--------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数

24年2月期	27,641,090株	23年2月期	27,971,616株
--------	-------------	--------	-------------

(注)1. 自己株式については、当連結会計年度末にF&Aアクアホールディングス従業員持株会信託口が所有する当社株式315,100株を含めて記載しております。

2. 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、22ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年2月期の個別業績（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期	1,306	2.4	823	1.3	795	0.5	674	△3.2
23年2月期	1,275	△0.5	813	0.1	791	2.7	696	0.2

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期	23	44	—	—
23年2月期	23	94	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
24年2月期	32,828	23,980	23,980	73.0	839	77		
23年2月期	32,763	24,211	24,211	73.9	834	20		

(参考) 自己資本 24年2月期 23,966百万円 23年2月期 24,206百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ以降をご覧ください。



## ○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 継続企業の前提に関する注記	17
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	17
(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	17
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	18
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	18
(連結包括利益計算書関係)	18
(セグメント情報)	19
(1株当たり情報)	22
(重要な後発事象)	22
4. 個別財務諸表	23
(1) 貸借対照表	23
(2) 損益計算書	25
(3) 株主資本等変動計算書	26

## 1. 経営成績

## (1) 経営成績に関する分析

## ・当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の発生により一時的に大きく落ち込みました。一部では復興需要等による景気持ち直しも期待されましたが、原子力災害の影響や欧州の債務危機、長引く円高の影響、株価の低迷等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、震災の影響による消費者マインドの冷え込みや雇用情勢の停滞、所得環境の低迷等により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、第2次中期経営計画最終年度となる2011年度、信頼性の高い企業グループの構築とグループ価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んでまいりました。

売上高におきましては、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツにおいて、主力の「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーの既存店や、「4℃BRIDAL」(ヨンドシィブライダル)、「canal 4℃」(カナルヨンドシィ)の好調等により、前期に比べ増加いたしました。(株)アスティは、不動産賃貸収入の減少により前期に比べ減少いたしました。(株)三鈴は、不採算店舗の撤退等により前期に比べ減少いたしました。(株)アージュは、「パレット」(総合衣料品店のチェーン展開)の既存店が好調を維持したことしたことや、新規出店により前期に比べ増加いたしました。

その結果、当期の連結営業収益は、466億93百万円(前年同期比0.6%増)と前期に比べ増加いたしました。

利益面におきましては、連結営業利益は、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツが過去最高益を更新したこと等により34億25百万円(前年同期比37.0%増)と前期に比べ増加いたしました。また、連結経常利益は38億89百万円(前年同期比30.6%増)、連結当期純利益は19億70百万円(前年同期比98.7%増)と前期に比べ増加いたしました。なお、連結経常利益は過去最高を更新することとなりました。

(注) 営業収益は、「売上高」と「その他の営業収入」の合計を記載しております。

## ・セグメント別の営業概況

## (エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ)

営業収益	229億80百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	30億95百万円	(前年同期比	－%)

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおきましては、主力の「4℃」ジュエリーにおける既存店の売上回復や「4℃BRIDAL」の積極的な出店、「canal 4℃」の都市型SCを中心としたマーケット拡大による新たな顧客の獲得により好調に推移いたしました。また、「EAUDOUCE 4℃」(オデュースヨンドシィ)、「4℃」バッグの健闘等もあり、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツでは売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

## (アスティグループ)

営業収益	95億85百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	3億38百万円	(前年同期比	－%)

アスティグループにおきましては、OEM事業を中心としたアパレルメーカー事業の強化により売上高の拡大に取り組んでまいりました。主力得意先との取り組みが順調に推移したことや、新規得意先の開拓と取引が拡大したこと等により、売上高、営業利益ともに堅調に推移いたしました。

(三鈴)

営業収益	65億67百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	1億40百万円	(前年同期比	－%)

(株)三鈴におきましては、ブランド価値向上を目指し、ブランドの再編による商品力の強化や主力商品を軸としたコーディネート提案と服飾雑貨の強化に努めてまいりました。プロパー消化率の向上と、経費削減が奏功し、営業利益が大幅に改善いたしました。

(アーヂュ)

営業収益	75億59百万円	(前年同期比	－%)
営業利益	1億40百万円	(前年同期比	－%)

(株)アーヂュにおきましては、売上高の拡大と利益体質の強化に取り組んでまいりました。主力の「パレット」が好調に推移したことや、「LOU」(ルウ)、「ラポール」の損益改善もあり、売上高、営業利益とも前期に比べ増加いたしました。

・次期の見通し

今後のわが国経済は、一部で復興需要等が期待されるものの、欧州の債務危機や原子力災害、デフレの影響等もあり、本格的な回復には時間がかかるものと予測されます。

流通業界におきましては、消費者マインドの冷え込みや雇用情勢の停滞、所得環境の低迷は続くものとみられ、経営環境は依然として厳しいものと予測されます。

このような状況のもと、当社は第3次中期経営計画をスタートさせ、信頼性の高い企業グループの構築に向け、CSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいります。

取り組むべきコア事業を「事業ビジョン」、それらを実現させるための仕組みを「組織ビジョン」、数値目標は「数値ビジョン」として掲げ、成長軌道への転換を強力に推進してまいります。

また、ホールディングスにおける機能強化策として「シナジー戦略の推進」を行い、グループ各社が効果的な事業遂行ができる体制を構築してまいります。

事業ビジョン

- ① エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおけるチャンネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大
- ② アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上
- ③ (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立
- ④ (株)アーヂュにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上
- ⑤ 海外戦略の推進
- ⑥ EC事業の拡大
- ⑦ 「4℃」ブランドの価値向上
- ⑧ 各グループ子会社の利益体質強化

組織ビジョン

- ① グループシナジー体制の構築
- ② グループ業務機能の集約・強化
- ③ グループ次期基幹システムの構築
- ④ グループ人材育成の推進
- ⑤ グローバル化に対応した人材の育成

次期(平成25年2月期)の連結業績見通しにつきましては、営業収益475億円、経常利益43億円、当期純利益22億円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

資産は511億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が8億34百万円増加したものの、のれんの減少5億23百万円、有形固定資産の減少3億28百万円及び繰延税金資産の減少2億61百万円等により相殺されたことによるものであります。

負債は123億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億66百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少15億78百万円等によるものであります。

純資産は388億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億21百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加5億89百万円及び自己株式の減少4億67百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ7億84百万円増加し、当連結会計年度末には12億87百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、資金の増加は40億59百万円（前連結会計年度比12億1百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益35億43百万円及び減価償却費8億73百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、資金の減少は4億32百万円（前連結会計年度比5億33百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億36百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の減少は28億41百万円（前連結会計年度比9億36百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の減少額15億40百万円、配当金の支払額5億85百万円及び自己株式の取得による支出4億37百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期
自己資本比率（%）	67.2	71.5	73.6	75.9
時価ベースの自己資本比率（%）	41.4	48.7	41.3	41.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	7.3	0.7	0.9	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	8.6	63.7	71.9	143.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」によっております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的に自社株買いを実施すること等により利益還元の水準向上を目指しております。

この方針に基づき、当期末の配当につきましては、過去最高経常利益を更新したことから1株当たり10円に特別配当1円を加えた11円とさせていただき予定です。当中間期末の配当(1株当たり10円)と合わせまして、通期では21円とさせていただき予定です。次期の配当につきましては、中間、期末ともに10.5円の年間21円を予定しております。

その他に、株主優待制度を設けており、期末現在株主様を対象に、当社グループの「株主ご優待券」、「当社グループ商品」、そしてCSR型の優待として「日本水フォーラムへの寄付」の3つの中からいずれか1つをお選びいただくものとなっております。

また、今後の事業展開に備えてグループ収益力の向上と経営基盤の強化に努め、将来にわたり株主の皆様のご期待に答えてまいりたいと考えております。内部留保につきましては、一段と激化する企業間競争に耐えうる経営体質の強化と、新規市場の開拓、新ブランドの開発、M&A等の事業展開に備えてまいります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、人間尊重の基本理念のもと、変革を恐れず、挑戦し続ける企業文化を大切にします。そして、

「私達は、お客様に信頼される企業を目指します。」

「私達は、社員に夢を与える企業を目指します。」

「私達は、社会に貢献できる企業を目指します。」

「私達は、株主に期待される企業を目指します。」

を経営理念として掲げ、商品やサービスの提供を通して、人々の快適な生活づくりに貢献することを最大の使命と考えております。

また、顧客、社員、取引先、株主など私たちを取り巻く人々に対する責任を果たすため、一層の高収益企業を目指し、グループの結束力を一段と強化してまいります。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループでは売上高経常利益率及び株主資本利益率（ROE）を重要な経営指標としてとらえております。収益率の向上、投資効率、資金の有効活用等を実現するため、事業戦略を組み立て、諸施策を実施しております。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

3ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析（次期の見通し）」に記載のとおりであります。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、市場の変化への対応力を強化するとともに、競争優位性を確立するために、以下の課題に取り組んでまいります。

#### ①エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ

「4℃」ジュエリーのブランド価値向上を中心とした事業展開と新たなマーケットの拡大へ向けた施策の取り組みを通じて、強固な増収・増益体制を目指します。さらに、次世代リーダーの育成等を推進し、営業利益の二桁成長を目指します。

#### ②アスティグループ

アパレルメーカー事業の「マーケット拡大による成長」を目指すと共に、人材育成・人材確保を進め、経常利益率6%以上、全子会社の黒字化に取り組んでまいります。

#### ③三鈴

アパレルSPA事業の確立を目指し、主要ブランドの構築を事業ビジョンとして掲げ、合わせて人材育成に力を入れ、経常利益率5%に取り組み、アクアグループを牽引していく第2の中核事業会社を目指します。

#### ④アージュ

コア事業「パレット」の拡大へ向け、開発部の新設、商品部の拡充により、経常利益2億円以上に取り組んでまいります。

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年2月28日)	当連結会計年度 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,901	1,287,321
受取手形及び売掛金	3,310,090	3,405,744
商品及び製品	5,086,013	5,205,017
仕掛品	522,351	329,657
原材料及び貯蔵品	421,913	566,752
繰延税金資産	480,552	839,425
前渡金	7,940	13,054
未収入金	223,361	90,503
その他	372,597	244,222
貸倒引当金	△4,683	△6,941
流動資産合計	10,873,038	11,974,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,707,350	5,531,699
土地	5,994,953	5,820,237
リース資産(純額)	77,463	77,674
建設仮勘定	4,376	367
その他(純額)	385,446	411,068
有形固定資産合計	12,169,588	11,841,047
無形固定資産		
のれん	7,795,492	7,271,736
リース資産	2,359	47,742
商標権	2,533	2,030
その他	250,887	142,569
無形固定資産合計	8,051,273	7,464,079
投資その他の資産		
投資有価証券	13,462,293	13,444,132
差入保証金	521,682	407,316
長期貸付金	48,389	35,334
繰延税金資産	677,560	415,757
投資不動産(純額)	810,784	804,495
前払年金費用	1,992,984	1,990,625
敷金	2,344,555	2,313,472
破産更生債権等	565,445	561,228
その他	468,671	484,172
貸倒引当金	△599,044	△593,824
投資その他の資産合計	20,293,323	19,862,712
固定資産合計	40,514,185	39,167,839
資産合計	51,387,224	51,142,598

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年2月28日)	当連結会計年度 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,138,660	4,000,388
短期借入金	1,676,604	97,700
リース債務	20,265	36,563
未払法人税等	941,945	1,034,486
繰延税金負債	23	1,439
賞与引当金	469,848	503,261
役員賞与引当金	50,450	57,450
その他	2,466,912	2,798,776
流動負債合計	9,764,710	8,530,067
固定負債		
長期借入金	733,130	510,350
リース債務	63,326	94,530
長期預り保証金	390,340	318,592
繰延税金負債	796,121	931,369
退職給付引当金	533,050	554,593
役員退職慰労引当金	369,511	397,046
資産除去債務	765,013	806,554
その他	155,741	161,558
固定負債合計	3,806,236	3,774,597
負債合計	13,570,946	12,304,664
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,300,303	18,300,303
利益剰余金	19,130,875	19,720,307
自己株式	<u>△1,943,930</u>	<u>△1,476,415</u>
株主資本合計	37,973,769	39,030,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,764	91,193
繰延ヘッジ損益	△2,555	14,624
土地再評価差額金	△264,512	△264,512
為替換算調整勘定	△43,665	△50,172
その他の包括利益累計額合計	<u>△164,969</u>	<u>△208,866</u>
新株予約権	5,483	14,286
少数株主持分	1,994	1,796
純資産合計	37,816,277	38,837,933
負債純資産合計	51,387,224	51,142,598



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	45,225,041	45,690,557
売上原価	20,972,454	21,071,998
売上総利益	24,252,587	24,618,558
その他の営業収入	1,208,832	1,002,740
営業総利益	25,461,419	25,621,299
販売費及び一般管理費	22,961,930	22,196,195
営業利益	2,499,489	3,425,104
営業外収益		
受取利息	3,224	2,467
受取配当金	59,834	62,487
持分法による投資利益	<u>168,313</u>	<u>219,971</u>
投資不動産賃貸料	106,850	94,687
為替差益	16,912	20,757
助成金収入	84,125	67,859
その他	106,414	47,884
営業外収益合計	<u>545,674</u>	<u>516,115</u>
営業外費用		
支払利息	42,010	29,753
その他	25,012	22,047
営業外費用合計	67,022	51,801
経常利益	<u>2,978,142</u>	<u>3,889,419</u>
特別利益		
固定資産売却益	1,576	585
投資有価証券売却益	11,726	0
貸倒引当金戻入額	10,701	2,751
過年度消費税等還付額	—	121,027
特別利益合計	24,004	124,364
特別損失		
固定資産売却損	—	23,386
固定資産除却損	91,654	64,560
投資有価証券売却損	2,171	—
投資有価証券評価損	70,110	50,417
減損損失	247,558	274,467
店舗閉鎖損失	14,721	13,971
事務所閉鎖損失	40,110	—
災害損失	—	42,910
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,338	—
その他	6,097	1,061
特別損失合計	962,762	470,774
税金等調整前当期純利益	<u>2,039,384</u>	<u>3,543,009</u>
法人税、住民税及び事業税	1,342,314	1,503,450
法人税等調整額	△293,776	69,640
法人税等合計	1,048,538	1,573,090
少数株主損益調整前当期純利益	—	<u>1,969,919</u>
少数株主損失(△)	△417	△197
当期純利益	<u>991,263</u>	<u>1,970,116</u>

## 連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前当期純利益	—	<u>1,969,919</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△58,260
繰延ヘッジ損益	—	17,179
為替換算調整勘定	—	△6,506
持分法適用会社に対する持分相当額	—	<u>3,690</u>
その他の包括利益合計	—	<u>△43,897</u>
包括利益	—	<u>1,926,021</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	—	<u>1,926,021</u>

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,486,520	2,486,520
当期末残高	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
前期末残高	18,300,326	18,300,303
当期変動額		
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
自己株式の消却	△58,912	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	18,300,303	18,300,303
利益剰余金		
前期末残高	18,871,004	19,130,875
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	991,263	1,970,116
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	259,871	589,432
当期末残高	19,130,875	19,720,307
自己株式		
前期末残高	△2,099,478	△1,542,926
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の消却	250,008	802,559
当期変動額合計	556,551	365,226
当期末残高	△1,542,926	△1,177,700
自己株式(従持信託所有分)		
前期末残高	—	△401,004
当期変動額		
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	△401,004	102,289
当期末残高	△401,004	△298,714
自己株式		
前期末残高	△2,099,478	△1,943,930
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
自己株式の消却	250,008	802,559
当期変動額合計	155,547	467,515
当期末残高	△1,943,930	△1,476,415

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	37,558,372	37,973,769
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	991,263	1,970,116
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	415,396	1,056,948
当期末残高	37,973,769	39,030,717
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
前期末残高	72,924	145,764
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	72,839	△54,570
当期変動額合計	72,839	△54,570
当期末残高	145,764	91,193
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
前期末残高	△2,223	△2,555
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△331	17,179
当期変動額合計	△331	17,179
当期末残高	△2,555	14,624
<b>土地再評価差額金</b>		
前期末残高	△264,512	△264,512
当期末残高	△264,512	△264,512
<b>為替換算調整勘定</b>		
前期末残高	△28,008	△43,665
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,657	△6,506
当期変動額合計	△15,657	△6,506
当期末残高	△43,665	△50,172
<b>その他の包括利益累計額合計</b>		
前期末残高	△221,820	△164,969
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	56,850	△43,897
当期変動額合計	56,850	△43,897
当期末残高	△164,969	△208,866
<b>新株予約権</b>		
前期末残高	—	5,483
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,483	8,802
当期変動額合計	5,483	8,802
当期末残高	5,483	14,286
<b>少数株主持分</b>		
前期末残高	2,412	1,994
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△417	△197
当期変動額合計	△417	△197
当期末残高	1,994	1,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
純資産合計		
前期末残高	<u>37,338,965</u>	<u>37,816,277</u>
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	<u>991,263</u>	<u>1,970,116</u>
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の処分	△21	△24
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加	41,632	—
連結子会社の減少に伴う利益剰余金の減少	—	△49
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>61,916</u>	<u>△35,292</u>
当期変動額合計	<u>477,312</u>	<u>1,021,656</u>
当期末残高	<u>37,816,277</u>	<u>38,837,933</u>

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,039,384	3,543,009
減価償却費	840,853	873,721
減損損失	247,558	274,467
のれん償却額	532,382	523,755
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,338	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△84,545	△2,961
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,179	33,413
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,583	24,422
その他の引当金の増減額(△は減少)	44,897	34,535
受取利息及び受取配当金	△63,058	△64,954
支払利息	42,010	29,753
持分法による投資損益(△は益)	△168,313	△219,971
為替差損益(△は益)	△34,272	23,324
固定資産除却損	91,654	64,560
固定資産売却損益(△は益)	△1,576	22,800
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,554	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	70,110	50,417
売上債権の増減額(△は増加)	46,085	△91,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△259,937	△71,718
仕入債務の増減額(△は減少)	223,207	△138,087
未払消費税等の増減額(△は減少)	122,105	73,809
その他の資産の増減額(△は増加)	343,657	245,878
その他の負債の増減額(△は減少)	△351,623	15,187
小計	4,249,125	5,243,925
利息及び配当金の受取額	171,824	173,720
利息の支払額	△39,739	△28,213
法人税等の支払額	△1,523,123	△1,329,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,858,087	4,059,961

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△971,383	△636,718
有形固定資産の売却による収入	1,966	147,518
無形固定資産の取得による支出	△6,756	△62,777
投資有価証券の取得による支出	△22,044	△15,884
投資有価証券の売却による収入	62,350	0
長期貸付けによる支出	△10,852	△5,796
長期貸付金の回収による収入	20,568	18,851
長期前払費用の取得による支出	△14,937	△25,661
その他の支出	△439,249	△283,771
その他の収入	414,194	431,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966,144	△432,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,310,000	△1,540,000
長期借入れによる収入	487,000	—
長期借入金の返済による支出	△255,424	△261,684
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△121,532	△437,308
配当金の支払額	△586,738	△585,983
その他の支出	△108,243	△16,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,904,938	△2,841,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,364	△915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,359	784,420
現金及び現金同等物の期首残高	518,261	502,901
現金及び現金同等物の期末残高	502,901	1,287,321

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成23年5月27日提出）における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<p>会計処理基準に関する事項の変更</p> <p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 当連結会計年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を早期適用しております。 これにより、営業利益は40,497千円、経常利益は40,624千円、税金等調整前当期純利益は、530,963千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は709,832千円であります。 なお、セグメント情報に与える影響については、セグメント情報に記載しております。</p> <p>(2) 退職給付に係る会計基準の一部改正（その3）の適用 当連結会計年度より、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。 なお、これによる当連結会計年度の損益への影響はありません。</p>	—————

表示方法の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
—————	<p>（連結損益計算書関係） 当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目で表示しております。</p>



## 追加情報

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
<p>(信託型従業員持株インセンティブ・プランにおける自己株式の処分に関する会計処理方法について)</p> <p>当社は、平成22年4月19日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入を決議しており、平成22年5月11日付で、自己株式513,700株(486,987千円)を「F&amp;Aアクアホールディングス従業員持株会専用信託口」(以下「従持信託」といいます。)へ譲渡しております(平成22年4月19日開示済)。</p> <p>当該自己株式の処分に関する会計処理については、当社が従持信託の債務を保証している関係上、経済的実態を重視する観点から、当社と従持信託が一体のものであると認識し、F&amp;Aアクアホールディングス従業員持株会が従持信託より株式を購入した時点で、当社から外部に株式が譲渡されたものとして処理しております。したがって、従持信託が所有する自己株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については当社の連結貸借対照表及び連結損益計算書に含めて計上しており、自己株式数については従持信託が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。</p> <p>なお、平成23年2月28日現在において従持信託が所有する自己株式数は423,000株、当社が所有する自己株式数は891,110株となっております。</p>	<p>当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計年度」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用しております。ただし、「その他の包括利益累計額」及び「その他の包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」及び「評価・換算差額等合計」の金額を記載しております。</p>

## (8) 連結財務諸表に関する注記事項

## (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)						
<p>1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">452,901千円</td> </tr> <tr> <td>流動資産その他(金銭の信託)</td> <td style="text-align: right;">50,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">502,901</td> </tr> </table>	現金及び預金	452,901千円	流動資産その他(金銭の信託)	50,000	現金及び現金同等物	502,901	<p>1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び現金同等物の期末残高と、連結貸借対照表に掲記されている現金及び預金勘定の期末残高は、金額が一致しております。</p>
現金及び預金	452,901千円						
流動資産その他(金銭の信託)	50,000						
現金及び現金同等物	502,901						

## (連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益

親会社株主に係る包括利益	1,047,696千円
計	1,047,696千円

当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益

その他有価証券評価差額金	66,845千円
繰延ヘッジ損益	△331千円
為替換算調整勘定	△15,657千円
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>5,994千円</u>
計	<u>56,850千円</u>

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツ、(株)アスティ、(株)三鈴及び(株)アージュの4事業会社を軸とする総合ファッション企業として事業活動を展開しております。

当社グループは連結子会社を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ」、「アスティグループ」、「三鈴」及び「アージュ」の4事業を報告セグメントとしております。

「エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ」では、「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーを中心としたブランドSPA事業、飲食事業を行っております。

「アスティグループ」では、主にOEM事業を中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業を行っております。

「三鈴」では、アパレルSPA事業を行っております。

「アージュ」では、西日本を中心としてファッション分野でリテール事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成22年3月1日至平成23年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額
	エフ・ディ・シィ・ プロダクツグループ	アスティ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	21,414,893	9,866,807	7,741,268	7,410,903	46,433,874	—	46,433,874
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8,418	1,518,131	6,918	176,289	1,709,757	△1,709,757	—
計	21,423,311	11,384,939	7,748,187	7,587,192	48,143,631	△1,709,757	46,433,874
セグメント利益	2,690,563	79,927	△23,770	57,942	2,804,662	△305,172	2,499,489
セグメント資産	17,576,198	18,778,372	3,287,911	2,054,303	41,696,786	9,690,437	51,387,224
その他の項目							
減価償却費	351,945	295,019	120,110	27,484	794,560	3,052	797,613
減損損失	38,879	103,771	101,116	3,791	247,558	—	247,558
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	752,856	116,023	105,367	9,683	983,930	—	983,930

(注)1 セグメント利益の調整額△305,172千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

(単位:千円)

						調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	22,980,762	9,585,355	6,567,438	7,559,742	46,693,298	—	46,693,298
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	26,778	1,408,936	53,085	210,537	1,699,338	△1,699,338	—
計	23,007,541	10,994,291	6,620,523	7,770,280	48,392,637	△1,699,338	46,693,298
セグメント利益	3,095,642	338,762	140,261	140,680	3,715,346	△290,241	3,425,104
セグメント資産	19,354,338	17,814,402	3,231,887	1,935,947	<u>42,436,947</u>	<u>8,806,022</u>	<u>51,142,598</u>
その他の項目							
減価償却費	420,548	255,327	115,725	29,780	821,382	15,327	836,710
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	553,460	29,481	112,942	1,401	697,286	1,410	698,696

- (注) 1 セグメント利益の調整額△290,241千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (関連情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しています。

## (報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アスティ グループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	131,964	102,597	36,010	3,894	274,467	-	274,467

## (報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、523,755千円、未償却残高は7,271,736千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

## (報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

当連結会計年度(自平成23年3月1日至平成24年2月29日)

該当事項はありません。

## (開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、資産除去債務、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
1株当たり純資産額 1,355.25円	1株当たり純資産額 1,415.84円
1株当たり当期純利益金額 35.44円	1株当たり当期純利益金額 71.27円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)	当連結会計年度末 (平成24年2月29日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	37,816,277	38,837,933
普通株式に係る純資産額(千円)	37,808,799	38,821,850
差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	5,483	14,286
少数株主持分	1,994	1,796
普通株式の発行済株式数(株)	30,331,356	29,331,356
普通株式の自己株式数(株)	2,433,418	1,911,731
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	27,897,938	27,419,625

## 2 1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	991,263	1,970,116
普通株式に係る当期純利益(千円)	991,263	1,970,116
普通株式の期中平均株式数(株)	27,971,616	27,641,090

3 従持信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。このため、上記の1株当たり純資産額の算定に用いられた当連結会計年度末の普通株式数及び1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた当連結会計年度の期中平均株式数は、当該株式が控除されております。

## (重要な後発事象)

前連結会計年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
(自己株式の消却) 当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主の皆様への利益還元を図るため、平成23年4月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、平成23年4月12日現在における自己株式1,073,110株(当連結会計年度末株式数891,110株、平成23年1月21日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の3月における取得数47,000株、平成23年4月11日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の取得数135,000株の合計)のうち普通株式1,000,000株の消却を決議し、平成23年4月19日に消却の手続が完了しております。	—

4. 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年2月28日)	当事業年度 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,201	901,523
前払費用	658	—
繰延税金資産	9,384	12,159
関係会社短期貸付金	3,205,891	2,380,720
未収入金	98,878	103,801
その他	59,085	5,342
流動資産合計	3,494,100	3,403,547
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	—	439
工具、器具及び備品(純額)	195	480
リース資産	11,700	9,000
有形固定資産合計	11,895	9,920
無形固定資産		
ソフトウェア	2,194	1,779
リース資産	—	46,109
無形固定資産合計	2,194	47,888
投資その他の資産		
投資有価証券	5,004	3,631
関係会社株式	29,197,880	29,197,880
繰延税金資産	30,587	32,424
その他	21,860	133,054
投資その他の資産合計	29,255,333	29,366,990
固定資産合計	29,269,423	29,424,799
資産合計	32,763,523	32,828,346

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年2月28日)	当事業年度 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	7,958,407	8,254,270
リース債務	2,821	14,855
未払金	24,925	23,289
未払費用	5,440	5,797
未払法人税等	28,369	27,401
賞与引当金	11,240	12,890
役員賞与引当金	13,700	16,150
その他	5,834	5,666
流動負債合計	8,050,739	8,360,321
固定負債		
長期借入金	415,980	330,700
リース債務	9,479	43,266
退職給付引当金	—	1,632
役員退職慰労引当金	75,770	89,820
その他	—	22,200
固定負債合計	501,229	487,618
負債合計	8,551,968	8,847,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金	14,838,777	14,838,777
資本剰余金合計	14,838,777	14,838,777
利益剰余金		
利益準備金	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金	805,927	99,309
利益剰余金合計	8,017,727	7,311,109
自己株式	△1,137,099	△669,559
株主資本合計	24,205,925	23,966,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145	△726
評価・換算差額等合計	145	△726
新株予約権	5,483	14,286
純資産合計	24,211,554	23,980,406
負債純資産合計	32,763,523	32,828,346

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
営業収益	1,275,525	1,306,610
営業総利益	1,275,525	1,306,610
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,213	7,458
役員報酬	90,720	92,119
給料及び手当	105,954	101,171
賞与引当金繰入額	11,240	12,890
役員賞与引当金繰入額	13,700	16,150
退職給付費用	—	1,911
役員退職慰労引当金繰入額	22,860	25,710
法定福利費	24,652	25,131
福利厚生費	16,776	34,266
業務委託費	30,771	28,556
借地借家料	18,955	5,796
支払手数料	20,885	22,361
減価償却費	3,052	15,327
その他	94,643	94,220
販売費及び一般管理費合計	462,426	483,071
営業利益	813,099	823,539
営業外収益		
受取利息	19,593	15,575
受取配当金	34	54
投資有価証券割当益	4,888	—
その他	2,488	2,411
営業外収益合計	27,004	18,040
営業外費用		
支払利息	46,487	42,994
その他	1,941	2,827
営業外費用合計	48,429	45,822
経常利益	791,673	795,757
特別損失		
固定資産除却損	1,050	—
災害損失	—	18,512
特別損失合計	1,050	18,512
税引前当期純利益	790,623	777,245
法人税、住民税及び事業税	104,430	107,339
法人税等調整額	△10,320	△4,110
法人税等合計	94,109	103,228
当期純利益	696,513	674,016



## (3) 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,486,520	2,486,520
当期末残高	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	14,838,777	14,838,777
当期末残高	14,838,777	14,838,777
その他資本剰余金		
前期末残高	22	—
当期変動額		
自己株式の消却	△58,912	—
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	—	—
資本剰余金合計		
前期末残高	14,838,799	14,838,777
当期変動額		
自己株式の消却	△58,912	—
自己株式の従持信託への譲渡	58,890	—
当期変動額合計	△22	—
当期末残高	14,838,777	14,838,777
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	417,300	417,300
当期末残高	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	6,794,500	6,794,500
当期末残高	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金		
前期末残高	882,438	805,927
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	△76,510	△706,618
当期末残高	805,927	99,309
利益剰余金合計		
前期末残高	8,094,238	8,017,727
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の消却	△191,095	△802,559
当期変動額合計	△76,510	△706,618
当期末残高	8,017,727	7,311,109

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
自己株式		
前期末残高	△1,292,668	△736,095
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の消却	250,008	802,559
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
当期変動額合計	556,573	365,250
当期末残高	△736,095	△370,844
自己株式(従持信託所有分)		
前期末残高	—	△401,004
当期変動額		
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	△401,004	102,289
当期末残高	△401,004	△298,714
自己株式		
前期末残高	△1,292,668	△1,137,099
当期変動額		
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の消却	250,008	802,559
自己株式の従持信託への譲渡	428,097	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	155,569	467,539
当期末残高	△1,137,099	△669,559
株主資本合計		
前期末残高	24,126,889	24,205,925
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の取得	△121,532	△437,308
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	79,035	△239,078
当期末残高	24,205,925	23,966,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	—	145
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145	△872
当期変動額合計	145	△872
当期末残高	145	△726
評価・換算差額等合計		
前期末残高	—	145
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145	△872
当期変動額合計	145	△872
当期末残高	145	△726

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	当事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)
新株予約権		
前期末残高	—	5,483
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,483	8,802
当期変動額合計	5,483	8,802
当期末残高	5,483	14,286
純資産合計		
前期末残高	24,126,889	24,211,554
当期変動額		
剰余金の配当	△581,929	△578,074
当期純利益	696,513	674,016
自己株式の取得	△121,532	△437,308
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,629	7,930
自己株式の従持信託への譲渡	486,987	—
自己株式の従持信託の譲受	△486,987	—
自己株式の従持信託からの売却	85,983	102,289
当期変動額合計	84,665	△231,147
当期末残高	24,211,554	23,980,406